

# 地域づくりネットワーク会議 ニュース

## ～ 第14号 ～

### 『「(仮称)大江緑道」を活かした地域づくりシンポジウム』 (第9回ワーキング会議)を開催しました！！

地域の人々に親しまれ、さまざまな人々に有効活用される「(仮称)大江緑道」の魅力づくりの方策を検討していくため、地域づくりネットワーク会議を実施しています。

去る平成25年7月28日(日)、大阪府立大学大学院 教授の藤原宣夫先生の司会・進行のもと、専門家の方々から話題提供やコメントをいただき、参加者全員で今年度の活動について意見交換を行いましたのでその内容をお知らせします。

#### ■ 『「(仮称)大江緑道」を活かした地域づくりシンポジウム』 (第9回ワーキング会議)の概要

日 時：平成25年7月28日(日)  
13:30～15:45

会 場：海津市海津農村環境改善センター 農事研修室  
参加者：海津市とその周辺にお住まいの方 約40名  
主 催：国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所  
共 催：海津市



#### ■ 当日のプログラム内容

【(仮称)大江緑道にかかるこれまでの取組報告と今年度の活動】 木曾川下流河川事務所より  
【話題提供(1)】「海津の郷土力を育む：水生生物から見た視点」 岐阜経済大学 森 誠一 教授  
【話題提供(2)】「海津市子どもまちづくり講座について」 海津市役所企画部企画政策課より  
【コメンテーターよりコメント】 「再生堀田に寄せる期待」 滋賀県立大学 森川 稔 客員准教授  
【フリー討議】今年度の活動案について意見交換 進行:大阪府立大学 藤原 宣夫 教授

#### ■ 【(仮称)大江緑道にかかるこれまでの取組報告と今年度の活動】

木曾川下流河川事務所 河川公園課長 やまもとゆきやす 山本幸泰

これまでの事業の取り組みと今年度の活動について、木曾川下流河川事務所 河川公園課長から、以下のような報告を行い、事業への参画・協力を呼びかけました。

- ・(仮称)大江緑道の整備事業が事業認可を受けた。
- ・今年度からは、用地の測量、取得をはじめめる予定。
- ・堀田の再生については、平成29年度に一部開園をめざし、今年は堀田周辺の詳細設計を行う。
- ・また、上記一部開園の前提条件として今年度は、堀田活用のための組織「(仮称)堀田を愛する会」の準備会を立ち上げる。
- ・昨年度に引き続き舟運・物販の社会実験を行う。その内容等について、関係者間で協議を進める。

#### ■ 話題提供(1)

「海津の郷土力を育む：水生生物から見た視点」

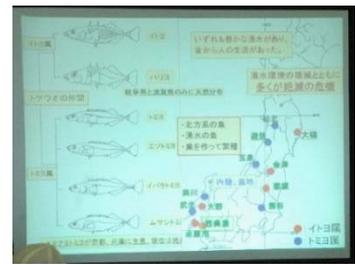
岐阜経済大学 教授・理学博士 もりせいいち 森誠一先生

続いて、ハリヨの研究を中心に、淡水魚の権威として活躍されている、岐阜経済大学の森誠一先生から、水生生物から見た視点で、海津の郷土力について、次のようなお話をいただきました。

- ・日本の中心に位置する岐阜県は生物が多様であり、特に海津には多種の淡水魚が存在した。
- ・淡水魚は、漁業文化、食文化、川遊びなど、海津の文化の中で大きな役割を担っていた。  
(裏面へつづく)



- ・イタセンパラ、ネコギギ、ハリヨ、ウシモツゴなど天然記念物を含む珍しい淡水魚も多く存在したが、水田の減少やブラックバスやオオフサモなどの外来生物の影響で激減している。
- ・子どもたちには淡水魚を知ることを通じて、郷土愛を育ててもらいたい。
- ・堀田の再生を含めた大江緑道事業には、淡水魚の生息域の確保、ひいては海津の郷土力を高めるといった役割を期待したい。



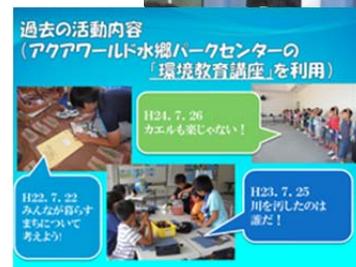
## ■ 話題提供 (2)

### 「海津市子どもまちづくり講座について」

海津市役所企画部企画政策課 課長 <sup>あんどつかずゆき</sup> 安藤和幸氏

海津市が行っている子どもまちづくり講座について、企画部企画政策課課長から報告しました。

- ・市内の小学4～6年生を対象に、海津市の自然環境にふれることで環境保全の大切さを知り、郷土愛を育てることをテーマとしている。
- ・自然観察、農業体験、調理実習、環境講座など様々な活動を実施している。今後も一人でも多くの子どもの参加してもらい、郷土を知ってもらえるよう活動を続けていきたい。



## ■ コメンテーターより 「再生堀田に寄せる期待」

滋賀県立大学 客員准教授・工学博士 <sup>もりかわみのる</sup> 森川 稔 先生

大江緑道事業への期待として、滋賀県立大学の森川先生からコメントを頂きました。



- ・次代へ残すのに相応しい生き甲斐、死に甲斐のあるまちをつくるために何ができるのかを考えていきたい。
- ・人のつながりこそが地域の活性化の鍵である。地域の住民(「土の人」)自らが組織のコアとなり、地域づくりのパレードの先頭に立つ意識を持つこと、そして、住民から行政に働きかけていくことが重要である。

## ■ フリー討議 司会：大阪府立大学 教授・学術博士 <sup>ふじわらのぶお</sup> 藤原宣夫教授

藤原先生の司会のもと、今年度の活動などについて、参加者全員で話し合いました。

- ・討議の中では、堀田の再生や、舟運社会実験の見所づくり、物販イベントに出したい商品など、様々な話題が出ました。
- ・堀田の再生は、地域の人々の知恵を集めて体制や方法をじっくり検討していく必要があるのではないか、堀田の農作業は部分的に機械を取り入れながら、歴史教育も兼ねて、できるだけ人力でやることをめざしてはどうか、などのご意見、ご提案をいただきました。
- ・また、(仮称)大江緑道のネーミング、サイクリングロードとしての魅力づくりなどについてもご提案をいただきました。
- ・今後は、堀田については市民の皆さんと立ち上げる「(仮称)堀田を愛する会の準備会」で議論すること、物販イベントについては関係者間で「(仮称)海津マルシェ会議」として、検討していくことを確認しました。



【今後の予定】 ● 第1回 (仮称)堀田を愛する会の準備会

開催日時：平成25年9月16日(月・祝日) 午後1時30分～

開催場所：アクアワールド水郷パークセンター レストハウス2階

発行：国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 河川公園課

TEL：0594-24-5719 <http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>

